



海上保安制度創設60周年記念



奄美海上保安部便り

通算第12号 2008(H20).9月30日発行



2008.8.4



JCGキャラバン奄美の海2008！

奄美海上保安部は、「JCGキャラバン奄美の海2008」を8月4日に名瀬港沖海域で実施しました。これは、当部における離島対策及び広報の一環として、一般市民に体験航海等を通じて、海上保安思想の普及を図るとともに、当庁職員の士気高揚を目的としており、今年で7回目を迎えました。体験航海出港前、鹿児島海上保安部所属「巡視船おおすみ」の船上で、「増田百夏(ますだ ももか:名瀬小5年生)一日奄美部長」・「寿山一成(すやま いっせい:奄美小6年生)一日おおすみ船長」の任命式セレモニーがあり、「寿山一日おおすみ船長」の「出港用意」の号令で名瀬港を出港しました。おおすみ出港後、巡視船艇・航空機による展示訓練が実施され、乗船者の大きな歓声が沸いていました。当日の乗船者数は842名でした。

奄美海上保安部

〒894-0034
奄美市名瀬入舟町22-1
電話(代表)0997-52-5811

「海の日」式典・表彰式



第十管区海上保安本部長賞受賞者



海上保安庁創設60周年記念

村上 慎一郎氏・山田 明氏・松田 秀嗣氏・平安 正盛氏

平成20年7月21日、奄美市主催の「海の日」式典が催され、平田奄美市長・酒瀬川奄美海上保安部長の挨拶に引き続き、海事功労者の四氏に(財)海上保安協会奄美支部役の永年勤続として第十管区海上保安本部長表彰が奄美海上保安部長から伝達されました。

・・・受賞者の皆様今後とも海上保安協会へのご支援・ご力をよろしくお願いします！・・・

第45回奄美まつり

平成20年8月1日～3日



海のもしもは 118

平成二十年八月一日から三日間、第45回奄美まつりが開催され、一日花火大会、二日に舟こぎ競争がありました。舟こぎ競争には、今年も奄美海上保安部から「海猿」「いそなみダイバース」が出場しました。海猿は惜しくも一回戦で敗退しましたが、いそなみダイバースは準決勝まで進みました。

当日は、奄美パークの園長「宮崎 緑」さんも観戦され、海保の応援をして下さいました。優勝は、地元の第一シード「朝仁進興業」チームでした。海保の選手・応援ともに地元との触れ合いに盛り上がり、大観衆の応援が上がる中、「海のもしもは118番」のアナウンスを大会会場に何回も流していただき海保のPRが大いに出来ました。

与論・沖永良部・徳之島地区における海上保安協力会総会 与論・沖永良部・徳之島の各救難所と保安部との連絡会



海上保安庁創設60周年記念

8月6日から8日にかけて、与論・沖永良部・徳之島で実施したJCGキャラバン（一般公開）に併せ、各島の海上保安協力会総会及び与論・知名・和泊・伊仙・徳之島・天城町の救難所と保安部との連絡会を巡視船おおすみ船内で開催しました。

各地区海上保安協力会総会

海上保安協力会とは、密航・密輸、不審船事犯及び海上環境事犯等海上犯罪に関する情報をはじめ、海難情報等幅広く効率的に入手し、迅速・的確な対応により、海上における犯罪を未然に防止し、また、治安の維持及び人命・財産の保護を図るため、海を生計の場とする海事・漁業関係者や沿岸域で活動する各種事業所・団体職員等による情報ネットワークを構築することを目的としており、総会では奄美群島周辺の現況及び通報する際の留意事項について奄美保安部から説明を行いました。



救難所所員に対する講習会

救難所とは、海や海浜で遭難した人や船などの救助をボランティアで行う組織で、連絡会では、管内の救助実績等を説明するとともに、救助活動を現場で行う救難所所員に対して、AEDを使用した心肺蘇生法の講習を実施しました。

参加した所員のみなさんは、海上保安官の説明を聞きながら、目の前の講習用的人形を「絶対助けるぞ!」との気迫で心臓マッサージ等を行っていました。



海のもしもは 118

船内見学者に対する講習会

救難所のAEDを使用した心肺蘇生法講習の準備をしていたところ、巡視船おおすみの船内見学に乗船していた未来の「海猿?」が興味を示しヘリコプター格納庫へ集まって来たので、急遽、講習会を開催したところ、小さな体で講習用の人形相手に心臓マッサージをしたり、海上保安官の説明を真剣に聞いていました。

急遽開催した講習会でしたが、救命に対する意識を高めてもらうことができました。

